

番町次世代シンポジウム アンケート

本日は「番町次世代シンポジウム」にご参加いただきありがとうございます。

アンケートにご協力をお願いいたします。

なお、アンケート結果は区ホームページ、千代田区議会・委員会、都市計画審議会等に説明(公表)させていただきます。予めご了承ください。

■あなた自身のことについて

年代	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80歳以上
性別	☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 答えたくない
職業	☐ 会社員 ☐ 自営業 ☐ 公務員 ☐ 専業主婦・主夫 ☐ 学生 ☐ その他
番町地区との関わり	☐ 番町地区に在住 ☐ 番町地区に通勤・通学 ☐ その他()

■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1	番町地区でこれまでに開催された説明会や公聴会、オープンハウス等に参加したことはありますか。
☐ 何回か参加した ☐ 一度参加した ☐ 知っていたが参加したことはない ☐ 知らなかった	

■本日のシンポジウムについて

Q2	本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えてください。
☐ 区ホームページ ☐ 広報千代田 ☐ 区ポータルサイト ☐ 掲示板 ☐ 知人から聞いて ☐ その他	
Q3	本日のシンポジウムの満足度をお教えてください。
☐ とても良かった ☐ まあまあ良かった ☐ あまり良くなかった ☐ 全く良くなかった ⇒そのように感じた理由	
Q4	ワールドカフェの全体共有の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えてください。
Q5	チェックアウト(Good & New)の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えてください。

裏面へ続きます

Q6	シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあれば教えてください。
Q7	今回のように、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地区に必要と感じましたか。
☐ とてもそう思う ☐ そう思う ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ⇒そのように感じた理由	
Q8	Q7で「とてもそう思う」「そう思う」とお答えした方にお伺いします。 意見交換の方法について、ご意見があれば教えてください。
Q9	今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあれば教えてください。

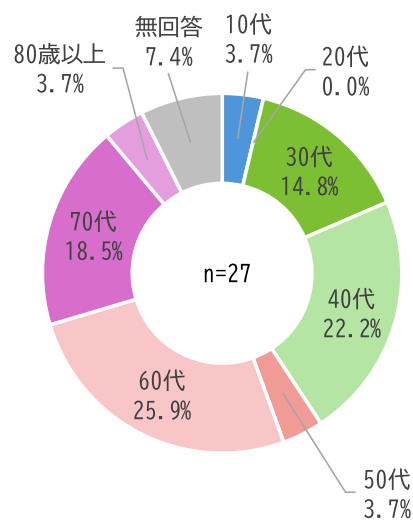
～アンケートは以上です。シンポジウムのご参加及びアンケートへのご協力ありがとうございました。～

番町次世代シンポジウム アンケート 集計

■あなた自身のことについて

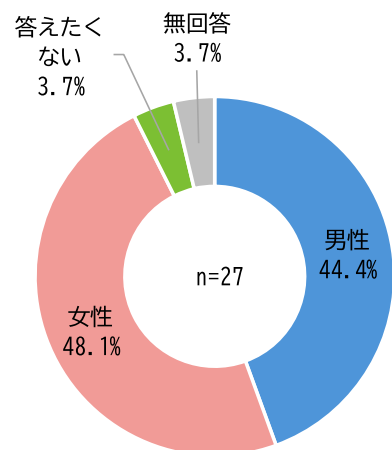
【年代】

		回答数	割合
1	10代	1	3.7%
2	20代	0	0.0%
3	30代	4	14.8%
4	40代	6	22.2%
5	50代	1	3.7%
6	60代	7	25.9%
7	70代	5	18.5%
8	80歳以上	1	3.7%
9	無回答	2	7.4%
計		27	100.0%



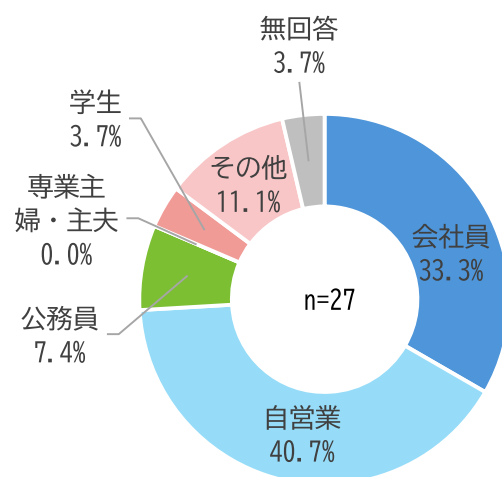
【性別】

		回答数	割合
1	男性	12	44.4%
2	女性	13	48.1%
3	答えたくない	1	3.7%
4	無回答	1	3.7%
計		27	100.0%



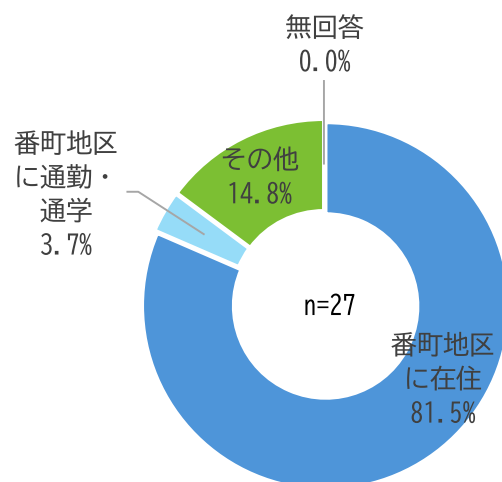
【職業】

		回答数	割合
1	会社員	9	33.3%
2	自営業	11	40.7%
3	公務員	2	7.4%
4	専業主婦・主夫	0	0.0%
5	学生	1	3.7%
6	その他	3	11.1%
7	無回答	1	3.7%
	計	27	100.0%



【番町との関わり】

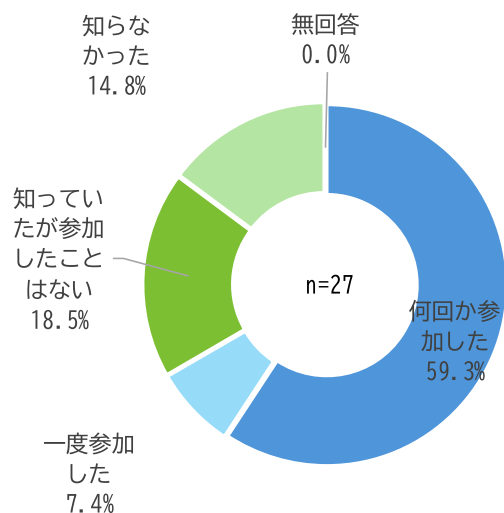
		回答数	割合
1	番町地区に在住	22	81.5%
2	番町地区に通勤・通学	1	3.7%
3	その他	4	14.8%
4	無回答	0	0.0%
	計	27	100.0%



■これまでの番町地区の説明会等の参加について

Q1 番町地区でこれまでに開催された説明会や公聴会、オープンハウス等に
参加したことはありますか。

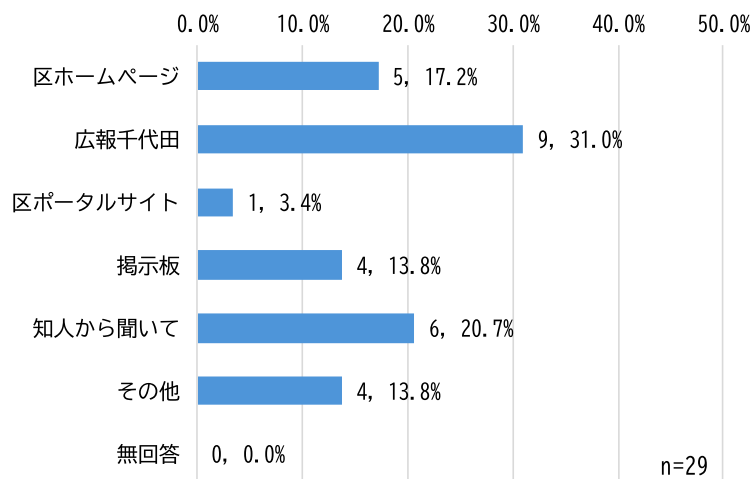
		回答数	割合
1	何回か参加した	16	59.3%
2	一度参加した	2	7.4%
3	知っていたが参加したことはない	5	18.5%
4	知らなかった	4	14.8%
5	無回答	0	0.0%
計		27	100.0%



■本日のシンポジウムについて

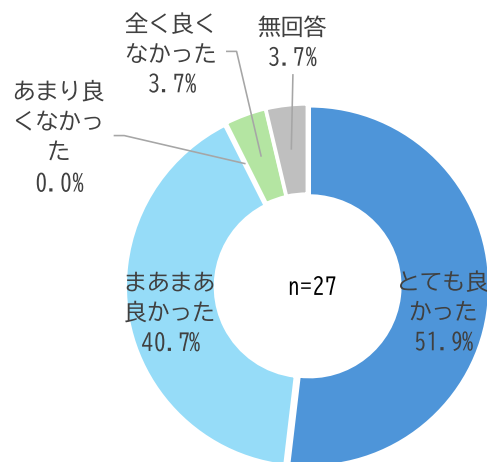
Q2 本日のシンポジウムを知ったきっかけをお教えてください。（複数回答含む）

		回答数	割合
1	区ホームページ	5	17.2%
2	広報千代田	9	31.0%
3	区ポータルサイト	1	3.4%
4	掲示板	4	13.8%
5	知人から聞いて	6	20.7%
6	その他	4	13.8%
7	無回答	0	0.0%
計		29	—



Q3-1：本日のシンポジウムの満足度をお教えてください。

		回答数	割合
1	とても良かった	14	51.9%
2	まあまあ良かった	11	40.7%
3	あまり良くなかった	0	0.0%
4	全く良くなかった	1	3.7%
5	無回答	1	3.7%
計		27	100.0%



Q3-2：そのように感じた理由

・ 同じ町に住む方の想いが可視化された。
・ この場で出されたアイデア、意見がどのように生かされていくのかが分からなかった。
自分とは異なる意見、アイディアを聞くことができた。
色々な人に会って色々な話を聞いた
多くの方のご意見を伺えた
30 人皆さんが番町が好きで殆ど同じように感じていることが分かった。町会のあり方も問題に思っていることも分かった。
知らなかった価値観を知れた。
事前の情報提供があるととっても良かった。（当日の流れなど）
いろいろな方とコミュニケーションを取ることができた。
番町について知れたし、住民の方の意見を聞いた
建設的な意見も多くあり、前向きな場だったと思う
企画自体が画期的。今後も継続していくことが大事で必要だと痛感。意見交換をメンバーを変えて。
番町の住人の方がどれだけこの街に愛情を持っているかを認識したし、次世代にも残したい思いで行動されているのだと感じられた。多世代の方と意見交換できて良かった。
立場の違う方の意見を聞いた
交流の機会が得られた
けんか腰の方が少なく、穏やかに前向きな意見を言っていらっしゃる方が多かったのです。

番町の在住者の方のお考えを知れました。

こういった区主催の、住民が地域の未来を話し合う場は今回が初の試みということで、まずは開催されたことに意義があると思いました。この機会に感謝いたします。

番町に長年住んでいる方々の多くが私と同じような価値観を持っていると分かったこともうれしい発見でした。

ただ、各セッションでグループを組む際は各々に任せるのではなく、機械的な方法でランダムな組み合わせになるようにすれば、より異なった意見 参加者にも触れられたのではないかと思います。

また、何人かの参加者について疑問を感じました。番町がどうというよりご自分の活動に関するご意見が多く、シンポジウムの趣旨に合っていないのでは、というのが正直な感想です。

次回からは、せめて番町と何らかの関わりと思い入れがある方に限定していただきたいと強く思います。

- ・ 附帯決議に基づく「前向きに話し合える場」では全くなかった。本当に参加したい関係者がはねられて、関係のない人が参加していた（在住・在勤・在学でもない方が数人、また区内在勤だが「番町を知らない」人まで入っていた。上の回答でも「その他」とあるが、選択肢としておかしい）。

- ・ 参加者が正しい情報に基づいて話していないこともあり、無責任な発言が多いと感じた。

- ・ 「附帯決議」が何か、今日はそれに基づく話なのか、全然知らずに来ていた人がいた。募集要項にもそのようなことは書いてなかったから当然だと思う。区がまず二番町再開発・附帯決議では何が求められているかについての説明会を行い、しっかり理解された上で、「すべての」関係者が参加できる場がもたれなければ、「附帯決議に基づく『前向きな話し合いの場』にはならない。

- ・ 附帯決議で求められているのは「二分している地区の融和」であり、「なお、日テレ通り全体のまちづくり」は追加事項でしかない。それを一緒にして議論し、二番町地区を抜き出すというのは順序が逆である。

ふんわりした「あったらいいもの、よさそうなもの」を聞いて盛り上げ、雰囲気はよくなった、というアリバイ作りをされた感じがした。

- ・ 地区を二分しているのは、① 狭い道路沿いに超高層が建ち、容積率が1.5倍も増えることへの恐怖

- ② 「あったらよさそう」程度のものを盛り込んで、人流が増え、インフラが圧迫され、喧噪化すること、一言で言えば、「番町環境が変わってしまうこと」、であるのだから、附帯決議に基づき「高さや容積率を下げ、環境への影響を減らす努力」に注力しなければ、納得は得られない。

それを、逆に地域の希望をブレストでわざわざひねり出して積み上げ、やはり大きなものが必要で、「皆様のためになることをするから人流がふえる（すでに日テレはそう言っている）」という話に持ってゆくのは本末転倒である。

・区も事業者も環境評価をはっきり表に出さず、(別の場でだが)区は住民に対し「探せばどこかにある」、と投げた言い方をした。住民が探し出しても、「容積率が1.5倍に増えるのに、就業者数の増加は1.3倍である」とか、「歩行者の増加分は、就業者数の増加によるものではなく、店舗に来る人の増加分である」などとしていて理解できない。まずこれらについて区から納得のいく説明をしてもらいたい。これが住民の一番の関心事であり、本当に番町の次世代を語るなら、環境問題の整理が不可欠である。

・イベントの騒音で困っているが、連絡先がわからず、仕方なく窓を閉めたり、外出してしのいでいる人や、4～5時間もシンポジウムに時間をとる体力も時間もない弱者、またこうした作業型イベントが苦手な人、など、本当の「サイレントマジョリティー」が関われないやり方だった。

(実際、往復を含め5時間もかかり、その中でも何度も席を変えさせられ疲弊した。)

・当該地域の近くで、「誰でも」、再開発の懸念事項が解消されるまでとことん、何回でも「普通の話し合い」をしなければいけないと思う。

・今回の遊びのようなやり方では、間違った発言も修正する機会はなく、個々の問題追及が深められない。

例えば、「エリマネを民間に任せたくない」という意見が複数あったが、深められなかった。

・わちゃわちゃして発表させたものをあたかも多くの住民から出たアイデアのように提示されると、二番町計画の最初の「住民を代表していない町会長が、盆踊り広場があれば高くしてもいい」と言ったことが独り歩きしてその後の地区の分断につながったことの繰り返しになる。

・このような会が「前向きな話し合いの場」と標榜され、二番町再開発計画の与件整理・基本計画に加えられることはやめてもらいたい。

自己紹介時にも伝えたが、東京都千代田区で13年勤務しながら番町地区の事については全く知らなくても自らの提案を受け入れてくれる所

Q4：ワールドカフェの全体共有の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えてください。

・番町の歴史の共有

・日テレ問題以外にも新旧住民の交流や、バリアフリー、子どもの遊び場の不足など、問題が山積していることに驚きました。

・番町のイメージを固めていく必要がある。

→どんな街にしていきたいのか？

「こうなってほしくない」の共有はできそう！それを共有して、今後どうしていくと良いのか考えられるといいよね！

具体的ではあるが、銭湯がそんなに人気なのか？

安心安全に暮らせる街＝広い遊歩道を作る、自動車スピードの制限、建物（高さ、色、建材 etc）のルールブック作り

都計審で対立していた本人のお話を聞いたこと

静けさ、にぎわいいらない

コミュニケーションを取りたい方（町会活動の参加等）が多くいらしたのが驚いた。
情報の共有、発信方法
個人的には銭湯のあるまちをあげたが、他にも同じような考えのある方がいて新鮮だった
・時間が細切れの印象あり。 ・でも面白かったです。 ・盛り沢山の内容で、半日に詰め込み過ぎだったのでは？
町会に入りたい人が多い。町会を運営している方々の工夫。
意見は違えど番町を好き、良くしていきたいという思いは同じであるということ
歩行空間の拡充
検討する時間が短い
番町に長年住んでいる方々がだいたい私と同じような価値観を持たれているとわかったこと。単純に普段出会うことが難しい世代のご近所の方とお会いして話せたことだけでも新鮮で貴重な体験だった。
イベントやお知らせ etc の情報共有が足りない所（ホームページなどに載らず自らで調べたりと負担も生じる為、後々になってからこういう情報があったとのケースも多々ある）

Q5：チェックアウト（Good & New）の中で、特に印象に残った意見や内容をお教えてください。

・子供の遊び場、特にボール遊びの深刻な不足 ・銭湯を求めている方の多さ ・広報紙や町会が、まだまだ十分に機能していないこと
“番町を教える会”
「参加者は皆、番町が好き！」ということが分かった。
具体的になった場合は、どのように整理していくか
皆、番町を愛していること
若い方の意見も聞くことが出来て良かった。
知らなかった意見を知れた
オープンザフューチャー・バイ・アートに賛同を得た
コミュニティの場、町会ともっとつながりたい、など町会の役割の重要性を認識できた。
Good：子どものための広場や、住人の憩いの場を皆欲していることを知れた。皆とにかく番町が好きと知れた。
New：町会があるということ。
番町が好き＋コミュニティ、コミュニケーション→エリアマネジメントは住民でできる
皆様の新しい発見が各々あったことが印象的でした。
前向きな発言が多く素晴らしい
「絶対あってはいけないこと」というトピックで、こうなってほしくないというビジョンがグループ全員で一致したこと（港区の〇〇ヒルズ群を代表する、どこにでもあるような金太郎飴的開発だけはやめてもらいたい！）

・グループワークの段階で「番町は学校が多いので、運動会、学園祭で年20回くらい、大きな音がする。

文教地区なので、我々はそれは受け入れている。それ以上のイベントの騒音は勘弁してほしい」との話があったが、他のメンバーが番町を知らないので、発表に盛り込めなかったとのことを聞いた。

Q6：シンポジウムの参加前と参加後で、変わったことがあれば教えてください。

・番町を好きな人が多い。

・自分と同意見の方が多いことに気づけた

→住民の想いはほぼ同じなのでは？

日テレ再開発への思いがある方が予想以上に多いことが分かった。一方、町会とは限らないコミュニケーションの場を求めている方が多いことも分かった。

意見の対立を大きくしない方法として良かった。今後も話し合っていくことが必要

明確になった

番町にはまだまだ未来があり、期待できる

今後の地域活動の参考になりました。

区役所にも変化の兆し？嬉しいです。

街をつくるということを主体的に考えることができ、より身近に番町を感じられた。

よりこの地域に愛着が沸いた。

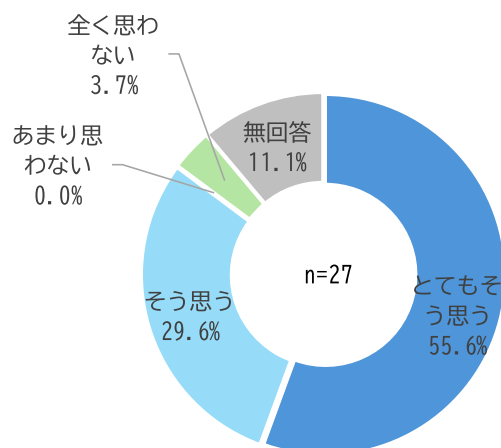
番町愛が深かった

もっと地域の人と出会い、対話し、意思表示をして、番町の未来に関わっていきたいと思った。

千代田区番町周辺を自らの足で散策して目で見えて確かめたいと思えるようになる。（場所というと市ヶ谷辺りだと分かり、電車の乗り換えはあるが具体的な所までは行っていない）⇒参加前は自分が番町地区の事で考えている事のみを考えていたが、番町地区全域について深く考えられるようになったという点です。

Q7-1：今回のように、多様なメンバーと意見交換を行う場が番町地区に必要と感じましたか。

		回答数	割合
1	とても思う	15	55.6%
2	そう思う	8	29.6%
3	あまり思わない	0	0.0%
4	全く思わない	1	3.7%
5	無回答	3	11.1%
計		27	100.0%



Q7-2：そのように感じた理由

コミュニケーションと情報公開が不足している。
町会だと情報が来ない。一部の人でない、住民も勤務者も学生も一緒に意見交換ができれば良い
会ってみることは大切
楽しかったです
若い人が少なすぎる。子ども（小学生であっても）聞いてみると良い
いろいろな意見が聞けるため
情報共有、伝達が圧倒的に不足していると感じた。
従来からの住民の方と新しく転入された方々との交流が必要
皆さんがそう発言されていた為
私の世代だと、番町小時代は越境通学の同級生がほとんどだったので、意外とご近所さんをあまり知らない。話してみると共通の知り合いもいたりして楽しかった。また新たに番町に引っ越された方にも（興味があれば）ここはこんな歴史がありますよ、こんな土地柄ですよと共有して、一緒に地域をよりよいものにしていきたいと思った。
年に1回だけでなく、月1回開催する方が変化が見られる。

- ・地域に暮らしている者、経緯をよく知る者以外がイメージでものを言うのはよくない。無責任で、話が散乱する。
 - ・「このような会に慣れている者」「ワークショップや発信が好きな者」が集まり、言ったことが独り歩きしたり、行政や事業者にとって都合のよいことが切り取られていくことのほうが怖い。
 - ・「非常に込み入った地域の問題」を知らないコーディネーター（ご本人がそうおっしゃっていた）に任せるのではなく、責任ある者が矢面に立ち、地域の近くで、「誰でも」、再開発の懸念事項が解消されるまでとことん、何回でも「普通の話し合い」をする場を設けなければいけない。
 - ・「あったらいいもの」は具体的にあげられるが、「静けさを維持したい」は具体的にない。
- 静かな施設でも人は来てしまう。今回のような、誘導的な手法はやめてほしい。
- ・最近地域で行われた、「誰でも参加でき、事実確認を目的とし、質問内容を限定されず、行政から答えを聞ける説明会」とはまったく内容も危機感も違った。

Q8：Q7で「とてもそう思う」・「そう思う」とお答えした方にお伺いします。意見交換の方法について、ご意見があれば教えてください。

LINE、SNS、HP など
・是非参加者を変えて回を重ねていただきたい。 ・多くの住民は番町に愛着を持って住み、これからも住み続けたいと思っていることが改めて知り得て良かったです。
会の後、出た案に対して区としてどのように対応したか、次の会で報告してほしい。
このような場に出る人がある程度固定してしまうのでランダムに選んで招待通知を送る。
今回のような場はとても良かったです、具体的に次に進める方法に着手していただけると嬉しいです。
今回のやり方で良い
みんなで話すことは色々な面でプラスとなるため
こういったシンポジウムももちろん有効だと思うが、それなりの熱量がある人しか参加しないと思う。 やはり当日も多く意見があがったように、町会をもっとフランクに参加しやすいものにする。私も一応町会に入っているが、予算についての会合くらいしか集会がないため、未だに参加したことはない。また連絡方法も手紙に限られているため、やりとりしづらい。メールや SNS を活用してほしい。 一番町から六番町までであるが、小さな規模で各々活動するのは労力も時間ももったいないと思うので、全町会いっしょくたにした「番町会」、それがむりでもせめて二つくらいに合体できないものかと思う。
今回、円形方式で開催したが、大学の授業みたいにボードを使用したり、「パネルディスカッション」を活用する事でより深く意見が出てくると感じます。

Q9：今回のシンポジウムを踏まえ、改めて思い描く番町地域の将来像などがあればお教えください。

放っておけば番町は自然に住宅街の様相を減らし、繁華街化する。昼間人口を抑える努力を怠れば、特徴のない街になってしまうと危惧する。

- ・老人から子どもまで、誰もが安心安全に暮らせる街
- ・バリアフリー化→老人、子ども、障害者も安心して暮らせる
- ・電柱の地中化→防災

住民も勤務者も学生も参加して、ゆるやかなつながりを持つエリア

丁寧な意見調整

静かで落ち着いたある上品な町、緑と水と広い空のある町

あきらめないで、将来世代のことも考えたまちづくりを追求していきたい。

今回の内容のフィードバックをメールやHPなどをお願いしたい。

- ・落ち着いた安心して住めるまち。何よりも住環境の保持
- ・都市マスに沿ったまちづくりを大切にしていきたいです

住民が安心して暮らせる街を維持してほしい。参加してみてとても良かったです！

もともと住んでいる方も新しく住民になった方も、日テレも全ての人がこの街に住んで、この街で事業をやっていて良かったと思える地域に。

日テレ跡地は千代田区が潤沢にある資金1400億円を元買い取ってくれたらいいのにと思っていました。

・夜間人口が増えているのに、そのためにという名目で昼間人口をふやすという、非論理的なまちづくりが横行する。

・作為的、誘導的な話し合いの会が持たれ、一方向に誘導され、住宅用途地域が商業用途地域に変更され、それを前例にして、次々に日テレ風の超高層ビルを中心とした再開発地ができ、「番町らしさがなくなる」ことが想像された。

・「日テレの再開発で駅構内がバリアフリーになるわけではなく、依然として地下鉄ホームから改札まで階段でしか上がれないところ残り、障害のある方や、心肺の弱い方は番町口が使えない」「超高層下で、ビル風が吹き、日陰になる、今の番町の森とは違う広場になる」、ことにビルができてから気づくことになってしまう。

・エリアマネジメントを日テレ関係の企業が請け負うと、なんでもありになってしまう。

テナントを維持するためにどうしても集客が図られ、わざわざここでやる必要のないイベント（すでに行われている）が行われ、繁華街化する。

・テナントなどの希望を言っても根付くとは限らない。都心の再開発ビルで見られるゴースタウン化や、無理な誘致で変なテナントに入れ替わる可能性もある。賃料を無理に下げると、周りのビルが空洞化する。（すでにビルは埋まりにくくなっている）

・都会人の利便性に合わせると営業時間も遅くなる。

・あれもこれも盛り込まれ、緊急時に細い道路でも交通の身動きがとれなくなる街。

・異論を封じ、最後の設計段階まで気を持たせるようなやり方では、本当に、都計審会長が都計審でおっしゃった「双方にとって不幸な結果に終わる」、そういう街になると思った。

番町の歴史や誇り、独自性を次世代に残すような再開発をしてほしい。具体的には、再開発ビルの外観を周囲に合わせる。ガラスの塊ではなく、レンガやタイルのような伝統的な素材、もしくはその代替素材を使う等。テナントも精査して、地域に役立つ物にしてほしい。新旧の住民がお互いを尊重できる出会いの場になってほしい。またせっかく今回のシンポジウムでいろいろな意見が出、そのなかには参加者の多くが賛成した意見もあったのだから、区側・日テレ側としてはこの機会を単なるガス抜きとせず、民意として真剣に受けとめてもらいたい。

少子高齢化が進んでいる現代社会の中で、①子供達が安心して遊べる施設の整備（スポーツが出来る環境を作る為にバスケットゴールを多く設置する）+②千代田区ホームページを活用する（イベント事を掲載して地域住民との連携を図っていく）+③歩行者専用道路を拡充する

今回シンポジウムに参加して番町地区は再開発が凄に進んでいると感じた。流れに合わせた情報共有がより大事になると思いました。